

# ひまわり通信



2014年度5月 第2号

～わらべうた通信～

## ●顔あそび●

顔あそびは、目はここ、鼻はここと、目鼻のありかを教えるだけでなく、顔を見て相手を知り、目を見て話を聞くという、人としての基本の習慣への土台になります。

ばあや ばやに ぱちぱち

ふがふがに もぐもぐ なんじょ

※「なんじょとは「なあに」という問いかけです。

- ☆ 「ばあや ばや」は眉毛をさわってうたいかける
- ☆ 「ぱち ぱち」は目をまばたきさせる
- ☆ 「ふが ふが」は鼻をふがふが鳴らせて見せる
- ☆ 「もぐもぐ」は口を動かし、食べる真似をしてみせる

こどもはその仕草と唄の面白さに大喜びします。くり返し遊んでいるうちに、「これが眉毛」「これが目」とわかってきます。それが小さい子にとってのなぞなぞの答えになります。だんだんと「なんじょ」という言葉が「なあんだ？」と問いかけられているのだということも分ってきて、なぞかけ遊びへとつながっていきます。



大崎ひまわり保育園 担当：石上  
連絡先 3495-7600

